

【研究結果概要書】

浜田市の地域食材を使った移動式子ども食堂に関する研究

松川大輝

① 研究の背景、課題

- ・浜田市内には子ども食堂が9か所あるが、認知度は高い一方で詳しい取り組みを知っている人は少ない
 - ・距離的な問題があり、利用したくてもできない層が存在している
 - ・子ども食堂は食材費高騰・運営資金不足に直面している
 - ・若者を中心に魚離れが進行している
- 魚は好きだが「高価・調理が大変」で食べる頻度が低い

② 研究目的

1. 子ども食堂のアクセスの問題・運営上の問題を解決
2. 若者の魚離れ解消と浜田市水産業の認知度向上

→これらを同時に解決する手法として、移動式子ども食堂の可能性を検討する

③ 研究方法

- ・高校生・大学生を対象としたアンケート調査
- ・浜田市内の子ども食堂でのフィールドワーク
- ・水産加工会社へのヒアリング調査
- ・魚粉を使った試作品の開発・試食

④ 研究内容・提案

- ・子ども食堂やまちづくりセンターを拠点に水産加工会社が移動式で魚の販売、加工、体験イベントを実施
- ・下処理済みの魚や加工品を子ども食堂へ安価に提供
- ・「魚を見て、食べて、体験する」食育型イベントを実施

⑤ 今後の問題と展望

- ・人員確保
- ・収益性を確保するビジネスモデルの構築
- ・公共交通が不便な地域での移動式子ども食堂の試行的実施
- ・魚を題材とした食育プログラムの実施